

2020年5月21日

日本医療研究開発機構（AMED）補助事業：「新型コロナウイルス抗体検出を目的とした
ハイスループットな全自動免疫測定方法の開発及び同測定方法の社会実装に向けた研究」
への参加について

関東化学株式会社は、横浜市立大学を代表機関として開始される「新型コロナウイルス抗体検出を目的としたハイスループットな全自動免疫測定方法の開発及び同測定方法の社会実装に向けた研究*」に分担研究機関として参加致します。

本年3月に当社は、横浜市立大学大学院医学群 微生物学 梁 明秀教授を中心とする研究グループの一員として、イムノクロマト法と ELISA 法を用いた、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）患者血清中に含まれる抗ウイルス抗体（IgG）の検出に成功しました。いずれの方法も人工的に作成された新型コロナウイルス（抗原）タンパクを用いて、ウイルスの感染により血清中に産生される IgG 抗体を検出するもので、この技術を用いたイムノクロマト試薬「シカイムノテスト SARS-CoV-2 IgG」は、6月1日より研究用試薬として発売する事を決定いたしました。

今回開始する研究課題では、この人工抗原タンパク質を用いて、横浜市立大学を代表機関、当社と東ソー株式会社が分担研究機関として協働で実施するもので、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）抗体を「定量的」かつ「大規模」に測定することが可能となるシステムの開発を行います。

* 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和2年度ウイルス等感染症対策技術開発事業（経済産業省補正予算「ウイルス等感染症対策技術の開発事業」）

[経済産業省 ニュースリリース（2020年5月21日）](#)

[国立研究開発法人日本医療研究開発機構\(AMED\) ホームページ](#)

[公立大学法人横浜市立大学 プレスリリース（2020年5月21日）](#)

研究課題

事業名：日本医療研究開発機構(AMED)令和2年度ウイルス等感染症対策技術開発事業
課題名：「新型コロナウイルス抗体検出を目的としたハイスループットな全自動免疫測定方法の開発及び同測定方法の社会実装に向けた研究」

研究体制

代表機関 公立大学法人横浜市立大学
代表研究者 横浜市立大学大学院医学群 臨床統計学 主任教授 山中竹春
分担研究機関 関東化学株式会社、東ソー株式会社

実施予定期間

令和2年5月15日から令和3年3月31日

研究開発の概要

関東化学株式会社：

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）抗体検出用の試薬に用いる人工抗原タンパク質を安定的に生産する方法の確立を目指し、試薬原料（人工抗原タンパク質）の供給体制を整えます。

東ソー株式会社：

既に事業展開している全自動化学発光酵素免疫測定装置（AIA-CL）の新規項目として、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）抗体検出用の試薬開発を短期間に行い、社会実装につなげることを目指します。

横浜市立大学：

このシステム開発のための基盤的研究として、抗原の選定や品質試験、全自動測定系に最適な抗原の作製法の探索などを行い、かつ、本学附属病院や他の医療機関等の臨床検体からのデータ収集や、科学的・社会的意義の高いデータ解析を実施します。さらに、本測定システムで得られた抗体価の結果に基づいた、COVID-19 発症や重症化、治療効果予測、感染防御能との相関等についても検証します。

以上

問合せ先

関東化学株式会社 技術・開発本部 技術・開発部

TEL : 03 (6214) 1070

Mail : td-info[at]gms.kanto.co.jp (アドレス入力時には[at]を@に変更してください)
